



遊休農地の解消に一役 園児が野菜栽培に挑戦

葛巻保育園（中崎廣子園長、園児84人）の3歳以上の園児57人は6月2日、田の沢地区の約300平方メートルの農地に、トウモロコシや枝豆、じゃがいもなど7種類の野菜の作付けを行いました。

この取り組みは、町農業委員会が同園の園児を「かがやくふるさとあとつぎ隊」に任命し、農業の担い手確保と遊休農地解消を目指し6年前から行っているものです。

町農業委員と浦子内老人クラブ、園児の祖父母が作業に協力。園児はおじいちゃん、おばあちゃんから種のまき方などを教わり、「大きく育てね」と願いを込めながら丁寧に植え付けていました。

町農業委員らに野菜の種のまき方を教わる園児



ミツバチ飛び交う森を こいわの森に巣箱設置

くずまき高原里山実行委員会（竹川高行委員長、会員24人）は6月7日、東京都の小岩金網(株)が袖山地区に所有している「こいわの森」に、ミツバチが飛び交う豊かな森を目指し、木製のミツバチの巣箱を設置しました。

設置作業には同会員のほか、西里と車門地区のボランティア団体・絆の会（里見幹雄会長、会員24人）の会員ら15人が参加。深さ1メートルほどの穴を掘り、この穴に直径23センチ、長さ3センチの円筒型の巣箱を建立。最後にトタン屋根をかぶせ、ニホンミツバチだけが好む花「キンリョウヘン」の成分を合成した誘引剤を取り付け作業は終了。今後、ニホンミツバチが飛び交う光景が見られるか楽しみです。

円筒型のミツバチの巣箱（写真中央）とくずまき高原里山実行委員会と絆の会のメンバー

まちなか 町中のベンチお色直し 商工会工業部会が奉仕

町商工会工業部会（上遠野光一部会長、会員71人）は6月8日、町中心部の国道沿いなどに設置してある木製ベンチ20脚のペンキ塗り替え作業を行いました。

この日の作業には会員8人が参加。JRバス葛巻駅構内車庫にベンチを搬入し、塗り残しがないようにベンチをひっくり返しながら全体にまんべんなく白いペンキを塗りました。参加した職人らの連携プレイにより約4時間で作業が完了し、ベンチはぴかぴかに生まれ変わりました。

上遠野部会長は「ベンチ設置から数年が経過して傷みが激しいものもある。今後、修理作業と併せて新しいベンチの製作にも取り組みたい」と意欲を見せました。



ベンチ全体にまんべんなくペンキ塗りを行う参加者

食育キャラバンが来町 園児ら紙芝居でお勉強

6月20日、県などが主催する食育普及啓発キャラバンが来町し、総合センターで町内の3歳以上の保育園児ら98人を対象に食育の重要性を伝えました。

県栄養士会やJA全農いわての「いわて純情娘」による紙芝居などが行われ、バランスの良い食事を心掛けることや、丈夫な体をつくる乳製品を1日3回は摂りましょうと園児たちに呼び掛けました。このほか県歯科医師会による歯磨き指導や食育関連絵本などの贈呈が行われました。

小屋瀬保育園の千葉瑛太くん（5歳）は「紙芝居が面白かった。これからも牛乳をいっぱい飲んで大きくなりたい」と元気いっぱいに話しました。



「1日3回は乳製品を摂りましょう」と紙芝居で園児に読み聞かせを行う「いわて純情娘」

心も体もリフレッシュ 親子でストレッチ講習

町子育て支援センター主催の「新米ママ講座～ストレッチ講習～」は6月11日、保健センターで開かれ、参加者は親子のふれあいを楽しみながら、子どもと一緒にできるストレッチ方法を学びました。

この日の講座には親子5組11人が参加。町体育協会の坂本牧子さんが、子どもを抱っこしながらでもできるバランス運動などの実技を指導。参加者は、講習を通じて疲れた体が癒やされるなどの効果を実感していました。

伊藤春奈さん（江刈川）は「この講座は、子育て仲間との交流ができ、子どもと一緒に学べるのが楽しい。講座で学んだことを子育てに役立てたい」と笑顔で話しました。



子どもを抱っこしながらストレッチに取り組む参加者



クラリネットとピアノの伴奏に合わせて「ビリーブ」を合唱する児童

間近で鑑賞プロの演奏 吉ヶ沢小でコンサート

吉ヶ沢小学校（石原文子校長、児童7人）は6月9日、同校音楽室で「東京交響楽団ミニミニコンサート」を開き、児童や保護者がプロによる楽器演奏を堪能しました。

このコンサートは文化庁主催の「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」により行われたもので、東京交響楽団に所属するクラリネット奏者の近藤千花子さんとピアニストの渚智佳さんが来校。楽器の仕組みを教わったり、息継ぎなしに長い音を吹き続けるクラリネットの「循環呼吸法」などの説明を受け、児童は目を輝かせていました。

菊池千弘さん（3年）は「指と息の使い方がすごい。循環呼吸法はいつか挑戦してみたい」と感動した様子でした。